

コアシンポジウム 3

「消化管疾患の画像診断の最前線【深化する画像強調内視鏡診断】」

主司会 磯本 一（鳥取大学医学部消化器腎臓内科学）

副司会 藤城 光弘（東京大学大学院医学系研究科消化器内科学）

通常白色光観察に加えて開発が進められてきた画像強調内視鏡観察法（IEE）は、消化管疾患の存在診断、性状評価に基づく質的診断、さらには病変範囲や深達度を評価する量的診断において重要な役割を担っている。色素法やNBI、LCI、TXIなどのデジタル法・光デジタル法に加え、近年進展著しいAI技術との融合による診断支援の現状と課題を共有し、深化するIEEが今後の消化管診療にもたらす将来像についても議論したい。